

お金を計算しよう ～四則演算(+・-・×・÷)は役に立つ～

令和4年4月作成



前回は老後 2000 万円問題について簡単にお話しました。その中で 2000 万円をためるためには毎月いくら貯蓄すればいいのか？ という話が出てきました。気が付いた人もいると思いますが、これは逆に言えば、毎月いくらずつ貯めたら何年後にいくら貯蓄できているのか？ という問題も解けるという事です。今回は、そんな**日常と将来に関するお金の計算をいくつかの例を用いて計算**してみたいと思います。なお、**今回はあくまで四則演算(+・-・×・÷)だけを用いて簡単に計算**するため、よく金融の世界で言われる複利計算などは割愛します(複利計算も四則演算の組み合わせで計算できるのですが、少し複雑になってしまいますので、興味がある方は自分で調べるか詳しい人に聞いてください)。

では、前回とは逆に **2000 万円あれば毎月いくらお金が使えるのかという計算**をしてみましょう。すごく簡単です。1年であれば1年×12ヶ月=12、5年であれば5年×12か月=60で、2000万円を割ってみればいいのです。

2,000万円を●年で使うとしたら毎月いくら使えるかの計算						
使う年数	5年	10年	15年	20年	25年	30年
毎月使える金額	333,333円	166,667円	111,111円	83,333円	66,667円	55,556円

5年で使い切るなら毎月約33万円、20年で使い切るなら毎月約8万3千円使うことが出来るとわかります。

では、**今度は毎月決まった金額を使ったら何年もつのかを計算**してみましょう。こちらは単純に毎月使う予定額で2000万円を割れば使える期間の年数がわかります。

2,000万円を毎月●円使うと何年もつのかの計算						
使う金額	5万円	10万円	15万円	20万円	25万円	30万円
使える年数	33年	17年	11年	8年	7年	6年

当然ですが、先に計算した表とほぼ上下が入れ替わる結果になります。どうでしょうか？ **2000万円と言えば大金ですが、他に収入がない状態で貯金を取り崩すだけの生活をすれば、2000万円ぐらいではあっという間になくなってしまいますね。**特に定年が60歳、年金は65歳から受け取るという人は、毎月約33万円使ってしまうと2000万円は年金を受け取る65歳の時にはほぼなくなってしまいます。もし年金が20万円であれば、その時点で毎月13万円の赤字、あっという間に資金ショートしてしまいますね。では、60歳から65歳まで年金と同額の20万円で生活したとしたらばどうでしょうか？ 20万円×12月×5年で、使ったお金は1200万円です。つまり65歳の時点で800万円も貯金が残っており、しかも65歳からは年金の範囲で生活できるため、貯金はもしもの時の準備金とする事が出来ます。

もちろん人生は予定通りにいくとは限りませんが、このように数値を単純化して計算してみると、意外とイメージしやすいのではないのでしょうか。毎月同じ金額ではなくても、「先月は少し使いすぎたから、今月はその分節約しよう」とか、先月はあまりお金を使わなかったから、今月は少し遊びに行こう」とかいう計算も簡単にできるようになります。今回のケースでいえば、**上記の2000万円を自分の目標貯金額を決めるために変更して計算してみるといい**と思います。**大事なことは自分の収入や支出に合わせて自分のための計算をすることです。**意外と**四則演算で簡単に目安の数値を求めることが出来ます。**